

## 活動に至った理由・背景

柳井縞 NOREN プロジェクト実行委員会の母体である“柳井縞の会”は、大正初期に途絶えた伝統的手織り木綿の復活を目的に 1994 年 2 月に市民により結成され、主に技術の伝承、人材育成、創作活動などを行っています。創立 20 周年を迎えるにあたり、何かイベントを開催したいと考えました。過去に、10 周年のイベントとして“柳井縞を使ったファッションショー”を開催していますが、今回は「多くの人、誰でもが参加できる」「参加者に達成感と感動を与える」「柳井市を少しでも元気にすることができる」、そんなイベントを実施したいという想いが強くありました。そんなイベントを開催することで、より多くの人に柳井縞のことを知ってもらえるだろうとも考えました。また、柳井縞の会の活動の場である“やない西藏”は、江戸時代の商家の町並みが残り“白壁の町並み”と呼ばれる重要な伝統的建造物群保存地区にあります。柳井縞と深い関係のある、この白壁の町並みを利用してイベントを開催することも前提条件です。

## 活動地域の概要

私たちが活動している柳井市は、山口県の東部に位置する人口 3 万 5 千人ほどの小さな町です。沿岸部は瀬戸内海に面し日照時間の長さは全国トップクラスです。江戸時代には岩国藩のお納戸として栄え、名橋「錦帯橋」の建設を支えました。市の中心部には室町時代からの町割りも現存し、柳井市の顔ともいべき江戸時代の商家の家並みが続き「白壁の町並み」として愛されています。昭和 59 年には国の重要伝統的建造物群保存地区（現在全国で 82 市町村 102 地区）に指定され、県指定有形民俗文化財や国指定重要文化財なども残されています。全国的規模の産業もなく、工場や支店の撤退などによる若者の地元離れが進み、高齢者を多く抱え、観光客も伸び悩む典型的な地方中小都市です。2012 年 12 月には隣接する岩国市に、岩国錦帯橋空港が開港したこともあり、全国から訪れる観光客を期待したいところです。ツーリズムなど、これまでとは異なる観光形態の創出の一端を柳井縞の会が果たせればと考えます。

設立年月 1994 年 2 月  
メンバー数 76 名  
代表者名 石田 忠男 (いしだ ただお)  
連絡担当者 三浦 清美  
〒730-0051 広島市中区大手町 2 丁目 7-3 大手町原田ビル 6F スタジオ空  
TEL.082-545-2926 FAX.082-545-2927  
Miura-qoo@mx52.tiki.ne.jp  
<http://www.geocities.jp/yanaijima/>

団体のミッション  
私たちは、市民や観光客に伝統的手織り木綿の柳井縞でのれんを織ってもらい、1,086 枚ののれんを江戸商家の家並みが残る白壁の町並みにつなげて掛け、小さな力も集まれば大きな力になることをカタチにします。

柳井縞 NOREN プロジェクト実行委員会 「山口県柳井市」  
みんなでつながろう



# イベント内容の立案

## 具体的な内容

### 「柳井縞NORENプロジェクト」

希望に合わせ2通りの参加方法を設定しました。

白壁の町並み→のれん→柳井縞  
のれん織り（ACTION1）  
2012年3月18～12月

白壁の町並み→のれん→柳井縞  
のれん掛け（ACTION2）  
2013年5月3日  
5日にのれん撤収

白壁の町並み→のれん→柳井縞  
のれん掛け終了後、のれんを手元に  
置きたい人は自分で全て織るか、一部を織り、残りは会員に織りを依頼する（1,000円/枚）

↓無料参加

↓有料参加

織りの参加方法

柳井縞NORENプロジェクト実行委員会事務局でもある「からり（中央平屋）」の外観。からりというネーミングは機織りのトンカラリの音からきています

小さな力も集まれば、大きな力になる。



白壁の町並みは柳井市の一一番の観光スポットですが、観光客数は年間数万人程度と決して多くありません。どのようなイベントをすれば多くの人が来てくれるのか、良かっただ感じてくれるのかを考え、

◎ただ見て歩くだけでなく

体験型や参加型であること

◎訪れる者ともてなすこと

物や心でつながること

◎感動を与えること

◎柳井縞と白壁の魅力が充分活かされること

白壁の町並みは柳井縞が下がり活気に溢れていたことでしょう。もちろん今も、この白壁の町並みで営業している土産店や文具店などには、それぞれ独自のれんが下がっています。また、醤油蔵など一部には柳井縞で織られたのれんも見られます。

白壁の町並みをそぞろ歩きする者にとって「この白壁の町並みに柳井縞のれんが沢山掛かったらいいな。素晴らしい景色になるだろうな。」という発想が浮かぶの

などを考慮しました。

白壁の町並みには、国指定の重要文化財とともに油やびんつけ油を商い隆盛を誇った「国森家」、また県指定有形民俗文化財で当時は西日本屈指の豪商であった「むろやの園」など江戸時代の商家が多く残っています。

商家には「のれん」がつきもの

です。岩国藩のお納戸として栄えていた当時は多くののれんが下がり活気に溢れていたことでしょ

う。もちろん今も、この白壁の町

並みで営業している土産店や文具

店などには、それぞれ独自のれ

んが下がっています。また、醤油

蔵など一部には柳井縞で織られたのれんも見られます。

白壁の町並みをそぞろ歩きする

者にとって「この白壁の町並みに

柳井縞のれんが沢山掛かったら

いいな。素晴らしい景色になるだ

ろうな。」という発想が浮かぶの

に時間はかかりませんでした。

白壁の町並みには、国指定の重

要文化財とともに油やびんつけ油

を商い隆盛を誇った「国森家」、

また県指定有形民俗文化財で当

時は西日本屈指の豪商であった

「むろやの園」など江戸時代の商

家が多く残っています。

商家には「のれん」がつきもの

です。岩国藩のお納戸として栄え

ていた当時は多くののれんが下が

り活気に溢れていたことでしょ

う。もちろん今も、この白壁の町

並みで営業している土産店や文具

店などには、それぞれ独自のれ

んが下がっています。また、醤油

蔵など一部には柳井縞で織られたのれんも見られます。

白壁の町並みをそぞろ歩きする

者にとって「この白壁の町並みに

柳井縞のれんが沢山掛かったら

いいな。素晴らしい景色になるだ

ろうな。」という発想が浮かぶの

に時間はかかりませんでした。

白壁の町並みには、国指定の重

要文化財とともに油やびんつけ油

を商い隆盛を誇った「国森家」、

また県指定有形民俗文化財で当

時は西日本屈指の豪商であった

「むろやの園」など江戸時代の商

家が多く残っています。

商家には「のれん」がつきもの

です。岩国藩のお納戸として栄え

ていた当時は多くののれんが下が

り活気に溢れていたことでしょ

う。もちろん今も、この白壁の町

並みで営業している土産店や文具

店などには、それぞれ独自のれ

んが下がっています。また、醤油

蔵など一部には柳井縞で織られたのれんも見られます。

白壁の町並みをそぞろ歩きする

者にとって「この白壁の町並みに

柳井縞のれんが沢山掛かったら

いいな。素晴らしい景色になるだ

ろうな。」という発想が浮かぶの

に時間はかかりませんでした。

白壁の町並みには、国指定の重

要文化財とともに油やびんつけ油

を商い隆盛を誇った「国森家」、

また県指定有形民俗文化財で当

時は西日本屈指の豪商であった

「むろやの園」など江戸時代の商

家が多く残っています。

商家には「のれん」がつきもの

です。岩国藩のお納戸として栄え

ていた当時は多くののれんが下が

り活気に溢れていたことでしょ

う。もちろん今も、この白壁の町

並みで営業している土産店や文具

店などには、それぞれ独自のれ

んが下がっています。また、醤油

蔵など一部には柳井縞で織られたのれんも見られます。

白壁の町並みをそぞろ歩きする

者にとって「この白壁の町並みに

柳井縞のれんが沢山掛かったら

いいな。素晴らしい景色になるだ

ろうな。」という発想が浮かぶの

に時間はかかりませんでした。

白壁の町並みには、国指定の重

要文化財とともに油やびんつけ油

を商い隆盛を誇った「国森家」、

また県指定有形民俗文化財で当

時は西日本屈指の豪商であった

「むろやの園」など江戸時代の商

家が多く残っています。

商家には「のれん」がつきもの

です。岩国藩のお納戸として栄え

ていた当時は多くののれんが下が

り活気に溢れていたことでしょ

う。もちろん今も、この白壁の町

並みで営業している土産店や文具

店などには、それぞれ独自のれ

んが下がっています。また、醤油

蔵など一部には柳井縞で織られたのれんも見られます。

白壁の町並みをそぞろ歩きする

者にとって「この白壁の町並みに

柳井縞のれんが沢山掛かったら

いいな。素晴らしい景色になるだ

ろうな。」という発想が浮かぶの

に時間はかかりませんでした。

白壁の町並みには、国指定の重

要文化財とともに油やびんつけ油

を商い隆盛を誇った「国森家」、

また県指定有形民俗文化財で当

時は西日本屈指の豪商であった

「むろやの園」など江戸時代の商

家が多く残っています。

商家には「のれん」がつきもの

です。岩国藩のお納戸として栄え

ていた当時は多くののれんが下が

り活気に溢れていたことでしょ

う。もちろん今も、この白壁の町

並みで営業している土産店や文具

店などには、それぞれ独自のれ

んが下がっています。また、醤油

蔵など一部には柳井縞で織られたのれんも見られます。

白壁の町並みをそぞろ歩きする

者にとって「この白壁の町並みに

柳井縞のれんが沢山掛かったら

いいな。素晴らしい景色になるだ

ろうな。」という発想が浮かぶの

に時間はかかりませんでした。

白壁の町並みには、国指定の重

要文化財とともに油やびんつけ油

を商い隆盛を誇った「国森家」、

また県指定有形民俗文化財で当

時は西日本屈指の豪商であった

「むろやの園」など江戸時代の商

家が多く残っています。

商家には「のれん」がつきもの

です。岩国藩のお納戸として栄え

ていた当時は多くののれんが下が

り活気に溢れていたことでしょ

う。もちろん今も、この白壁の町

並みで営業している土産店や文具

店などには、それぞれ独自のれ

んが下がっています。また、醤油

蔵など一部には柳井縞で織られたのれんも見られます。

白壁の町並みをそぞろ歩きする

者にとって「この白壁の町並みに

柳井縞のれんが沢山掛かったら

いいな。素晴らしい景色になるだ

ろうな。」という発想が浮かぶの

に時間はかかりませんでした。

白壁の町並みには、国指定の重

要文化財とともに油やびんつけ油

を商い隆盛を誇った「国森家」、

また県指定有形民俗文化財で当

時は西日本屈指の豪商であった

「むろやの園」など江戸時代の商

家が多く残っています。

商家には「のれん」がつきもの

## プロジェクトスタート

この柳井縞NORENプロジェクトは、参加者がつくるイベントで、のれん織りのスタートかられん掛けまでおよそ1年2カ月の長丁場となります。

### ACTION 1 のれん織り

体験工房のやない西蔵において2012年3月に柳井市長、商工会議所会頭、婦人会会長、子ども代表の4人が機織りに座り織り始め、多くの取材陣のフラッシュを浴びました。

観光客での参加は、北は茨城県から南は沖縄まで、海外の方の参加も多くありました。可愛い園児や授業の一環として多くの児童や生徒も参加してくれました。ある大学のゼミの学生たちは、このプロジェクトのスタートから終了までの期間、何度も柳井を訪れてくれました。

また、出張のれん織りも実施しました。地元の病院のお祭りや広島の大学の大学祭では機織りを持ち込み呼びかけを行い、のれん織りに多くの人に参加してもらいました。

のれん織りは順調に進み、2012年10月には871枚目ののれん織りの予約が入り、その後も多くの参加希望の声がありました。

予想よりも早く目標枚数に達成することで、のれん掛けまでの時間が過ぎすぎ

#### プロジェクトへの興味や期



参加者に配布した証明カード

待感が希薄になる懸念もあり、急遽目標枚数を変更することになりました。871(やない)という数字はどんなかたちであれ残したいと考え、また実現できそうな数として、871(やない)枚+215(にいこう)枚=1,086枚を新たな目標枚数に設定。

最後の1,086枚目の織りは、2013年1月20日に、プロジェクトに協力いただいた白壁の町並みに住まわれている人たちに織っていただきました。ここでちょっととしたうれしいサプライズ。2012年12月に隣りの岩国市に開港したばかりの「岩国錦帯橋空港」のANA事務所に勤務となつた所長が、何も知らないまま観光に来られ、この最後の1枚の織り納めをされました。隣りの岩国市が東京とつながり、のれんで私たちともつながつたのです。結果的に3,300人以上ののれん織りの参加をいただきました。

### のれんの準備

織られたのれんは、織りと平行作業で縫製をしていきました。掛けるためのロープを通す袋縫い、のれん同士の重ね縫いなどです。試行錯誤の末、基本は2枚1組とすることとしました。織り参加時に渡した番号をのれんの裏に貼り、自分の織ったのれんが分かるよう



自分が織ったのれんがわかるように、番号がふられています

織られたのれんの縫製作業



授業の一環でのれん織りに参加してくれた小学生。指導する柳井縞の会会長にとって孫の



ような児童たちも真剣です



海外の方は好奇心旺盛で、のれん織りにとても興味を持っていました

## ACTION2 のれん掛け

1,086枚ののれんの準備も出来、何度か掛ける練習もし2013年5月3日10時、晴れ渡る空の下、いよいよのれん掛けのスタートです。1チーム10名程度で通りの両側に北チーム・南チームが揃い掛けていきます。実際にのれんを掛ける者は事前に決めてあるプロジェクト実行委員会メンバー・商工会議所・青年会議所・市役所職員・子どもたちなどですが、一般の方で前もって参加を希望された方と当日飛び入り参加も予想し、事前に用意した細かな手順での作業進行は止め、実行委員会のメンバーの目配りを頼りに、あくまで楽しくゆっくり作業を進めることにしました。様々な声がとびかい、決して無駄がなく流れるような動きとはいえませんでしたが、みんなの気持ちの高揚がよく分かりました。時間が経つにつれ、つながれて長く伸びていくのれんを見ると、やっとここまで来たという気持ちは同時に、このまま「のれん掛け」の作業が終わらず、もっともっと何処までも掛け続けたいという想いも湧いてきました。

約1時間ほどで、見事1,086枚、総延長40m25cmののれんが白壁の町並みにつながって掛かりました。澄み切った青空の下、モノトーンの白壁の町並みに掛かる様々な縞柄の柳井縞のれん。薰風にゆれるのれんたちはとても美しく、それを眺める人たちの笑顔はとても素敵でした。構想から2年半。私たちの挑戦は終わりました。

## 柳井縞まつり

1,086枚ののれんを白壁の町並みにかける「柳井縞NORENプロジェクト」をメインに5月3日から5日まで、白壁の町並み一帯で各種の催しを開催。柳井縞の織りや染め体験、展示・販売をはじめ、子どもの日にちなみ、子どもたちも楽しめるものも用意しました。今回のプロジェクトを知った東京在住のれんコレクターが、ぜひにと50数年間で集めた180枚ののれんを寄贈してください、特別展示として皆にお披露目も。天気も味方してくれ、多くの人で賑わった3日間でした。



白壁の町並みには、着物とのれんが似合います



## ギネス登録申請

今回の私たちの挑戦のために、ギネス社は『のれんをつなげて掛ける』という新たなカテゴリーを新設してくれました。記録をまとめ申請し結果がではのは2カ月程かかるでしょう。集客のために「世界記録に挑戦」することを前面に打ち出しましたが、記録達成よりも皆でのれんを織り、つなげて掛けることで、1本の糸で皆の心がつながり、小さな力も集まれば大きな力になることを形にできたことの意義が大きいと思っています。



2013年5月3日、見事1,086枚ののれんが掛かり、柳井縞の会会長、柳井市長、子どもたちなどの手でくす玉が割られ、大きな拍手が起きました。

今回の実施したプロジェクトで使用したのれんの内、買い取り分を差引いた数は121枚。この手元に残った、見ず知らずの人人が織り継いで出来たのれんを有効活用するため、これらを使った小物作り教室を開催する計画を立て、すでに見本が出来上がったものもあります。

また、2012年に送った柳井縞を使って、フランストゥールコワーン市の服飾の学校の生徒が、現在作品を試作中です。日本の伝統的織物がフランス人の感覚でどんな作品に仕上がるか楽しみです。これを縁に交流を深めたいとの話もトゥールコワーン市長から届いています。

このほか、服装関連に止まらずインテリアや嗜好品、その他の分野との融合も視野に入れて柳井縞の可能性を探ることも必要でしょう。柳井市を訪れた人がホテルや得意先の企業などでコースターやのれん、座布団などいつも柳井縞を目にすることができる環境作りを整えることも重要です。

これら外部に向けての柳井縞の認知訴

## 今後の予定



求や活動を今後も引き続行したいと考えていますが、ただ忘れてはいけないのは、私たちの第一の使命は柳井縞の技術伝承と創作活動にあるということです。実際に私たちが織り続けること、技術を向上することに一番の力を注がなければなりません。同時に引き継ぐ若い力を育てるのも私たちの責務です。30周年記念、50周年記念のイベントの開催を目指し、柳井縞は何處に行こうとしているのかを自覚し、前を見る目を持ちながら、後から、斜めから、左右から、上下から見る目を持ってこれから会の運営を行っていきたいと考えています。柳井縞は時代の流れに逆らえず、糊口をしのんだ結果、大正の時代に一旦途絶えました。柳井縞を復活させて20年。私たちは柳井縞で生計を立てているわけではありません。二度と同じ失敗はしないために、この度のプロジェクトの意味を踏まえて、今後何をすればいいのか考えながら一歩一歩進んでいきたいと思います。

柳井縞 NOREN プロジェクト実行委員会は、柳井縞の会を母体としています。

柳井縞の会の現在のメンバーは約80名。柳井縞の会は通常、市の体験工房「やない西藏」などで市民や観光客向けに機織りや草木染め、小物の制作などをっています。2013年に創立20周年を迎えるにあたり、「柳井縞ののれんを白壁の町並みにつなげて掛ける」という長期プロジェクトを計画することとなりましたが、現在活動の拠点としている「やない西藏」は市の所有であり、使用しての活動内容には制約があります。

◎今回のプロジェクトは1年以上の長期に渡る市民や観光客参加の活動であり、この制約を超えた多くの活動が考えられた拠点の必要性があること。

◎柳井縞の会とは違った役割分担の必要性。

◎創立20周年に限つての活動であること。

などを考慮して柳井縞 NOREN プロジェクト実行委員会を設立しました。